



ロータリー:  
変化をもたらす

# 会報

頑張れ!多摩!



2017. 12. 06 第1253回例会 No. 28-17 2017. 12. 13発行

◎司会 SAA・親睦委員 小坂 一郎

◎点鐘 会長 田崎 博実

◎国歌「君が代」斉唱  
ロータリーソング「我等の生業」  
ソングリーダー 菊池 敏

◎「四つのテスト」唱和 SAA・親睦委員会

◎お客様紹介 会長 田崎 博実  
卓話講師 東京小金井ロータリークラブ  
R財団委員会ホリ・プラス委員長 田中 靖様

◎会務報告 会長 田崎 博実  
理事会としての報告事項は特にありません。

◎幹事報告 幹事 峯岸 忠  
〈配布〉2750地区大会パンフレット〈回覧〉ガバナー通信12月号、地区大会出欠表、クリスマス例会出欠表、Rの友事務所事業報告〈他クラブ例会変更〉事務局へお問い合わせください

## 【 委員会報告 】

◎各委員会・他



☆会員表彰 峯岸 忠会員  
第1回マルチプルポール  
ハリスフェロー  
認定バッジが授与されます。  
おめでとうございます!

☆SAA・親睦委員会 副委員長 三田みよ子

クリスマス例会のご案内を再度致します。先週、もしくは今週の配布物に入っております。大人10,000円(大人同伴者同額)お子様5,000円。当日お支払いください。また昨年同様オークションを開催予定ですので、ご協力をお願い致します。オークションの品物は、13日迄に事務局宛 お名前・商品名ご連絡下さい。SAA委員の方は、20日「アポロ」15:30から事前準備を行いますので、ご参集お願い致します。

◎出席報告 出席奨励委員会 杉山 真一

会員総数	29名
出席義務免除者	7名
出席者数	15名
出席義務者	15名
出席免除者	6名

計 21名

出席率 21/28 = 75.00%

第1251回例会(11/15)訂正出席率 68.00%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 伊澤ケイ子

田崎 博実 お客様ようこそいらっしゃいました。ポリオの件、勉強させていただきます。

峯岸 忠 田中様ようこそ卓話宜しくお願います。菊も無事終わりました。休みが続き申し訳ありませんでした。

遠藤 二郎 地区ポリオプラス委員長 田中 靖様 「ご多忙中、卓話をお引き受け戴きまして、御礼申し上げます。ポリオ撲滅まであと少し共に頑張りましょう」

足立潤三郎 ポリオプラス委員長田中様卓話宜しくお願います。

瀬戸 武 いよいよ年の暮れですね。  
三田みよ子 お客様ようこそ!!卓話宜しくお願致します。

入沢 修自 前回例会間に合まなくて、昨日多摩RCにメイクアップしてきました。

森本 由美 田中さま、ようこそ 本日はポリオについてのお話 宜しくお願います。

萩生田政由 R財団委員会、ポリオプラス委員長 田中 靖様ようこそ!

卓話宜しくお願致します。

関岡 俊二 お客様ようこそ。

齋藤 誠壽 お客様ようこそ 勉強させていただきます。

菊池 敏 ポリオプラス委員長田中様 卓話 宜しくお願致します。

伊澤ケイ子 ポリオプラス委員長田中様ようこそ。

本日の合計¥23,097 (累計¥428,100)

## ◎卓話者紹介 プログラム委員長 萩生田政由

東京小金井RC所属、R財団委員会ポリオプラス委員長の田中靖様をお招きしています。今日はポリオについてお話しいたします。田中先生、よろしく願い致します。

## ◎卓話「ポリオについて」

### R財団委員会ポリオプラス委員長 田中 靖様



話をはじめの前に、皆様に感謝の気持ちを申し上げます。東京多摩グリーンRCの皆様には、多大なご寄付を頂戴致しました。特に、萩生田様、峯岸様には大口の寄付をいただきまして、ありがとうございます。ポリオ委員会に関わって7年になります。遠藤委員長の時に副委員長

でした。現在、委員長を引き受けているのも、遠藤委員長の背中を見ながら過ごして来たからです。本日お目にかかれずに残念ですが、是非、皆様からよろしくお伝えください。今日は、ポリオの基本事項、歴史、RCのポリオ活動の軌跡、寄付、ワクチンについてお話しします。

**【前置き】**古代のエジプト第18王朝の石碑や約4千年前北海道入江貝塚遺骨、アンドリューワイエス作絵画から、ポリオに罹患された方々が多くいる事が分かります。中でもF. ルーズベルト大統領の車椅子姿の写真は現存する2枚のうちの1枚で、ポリオに罹患された最も著名な方です。日本人では、坂東玉三郎さんや泉谷しげるさんがいます。

**【基本事項】**ポリオ、正式名称「Poliomyelitis」略して「Polio」、日本名「急性白灰髄炎」一般名「脊髄性小児麻痺」。病原菌のポリオウイルスが脊髄の灰白質に入り、神経細胞傷害を起こします。手足の筋肉が麻痺、萎縮し手足は極端に細くなります。ウイルス感染者の約0.1%に麻痺状態が発生、延髄や呼吸筋が侵されると自発呼吸が出来なくなり死亡するか当時は人工呼吸装置(鉄の肺)に入り続ける必要がありました。ワクチンが普及する前は年間35万人が感染。ポリオは人から人への感染、人から排出された糞便中のポリオウイルスが経口感染により腸の中で増殖、血流に侵入します。ポリオウイルスには1、2、3型の3タイプがあり、2型は2012年に撲滅、3型は2015年以来発症していません。元来その国に存在しているポリオウイルスを野生株、他の国から運び込まれたウイルスを外来株といい、野生株のある国を常在国と呼びます。また最近話題なのが、幼少期にポリオにかかった方の半数近くにポストポリオ症候群(数十年たって新たな症状が発症する、例えば筋肉の痛みなど)が発生する事。ポリオは有効な治療がないので、ワクチン接種で予防のみが有効です。

**【歴史】**日本では明治後期からほぼ10年おきに流行。1947年に届出伝染病に指定、正式な調査開始。1960年に大流行、患者数は史上最大の5606人。翌年生ワクチンの安全性は未だ確認されていない中、厚生大臣

古井喜美氏の「責任は大臣がもちます」という強い決断の元、ソ連・カナダから生ワクチンを緊急輸入、1300万人を越す児童に一斉投与し、劇的な効果を得ました。この年をピークに急速に減少、1964年、ワクチンによる定期予防接種開始。1965年には発症数僅か76人。NID方式(接種日を決め全国一斉投与の方法)による効果で、NID方式は後にポリオ撲滅活動の中心戦略としてWHO(世界保健機関)に採用されています。1980年以降のポリオ症例は全てワクチン関連麻痺症例。(野生株ウイルスによる発症ゼロ)2000年、日本におけるポリオ撲滅宣言。2012年8月日本最後のポリオ患者が発症。9月には生ワクチン投与中止。すべての予防接種がウイルスの病原性をなくした不活化ワクチンに切り替えられました。以後、新たなポリオの発症はありません。

**【RC撲滅活動の軌跡】**1985年、RIは、全世界でポリオの撲滅を目指す「ポリオプラスプログラム」を設置。このプラスの意味は最初チフス等の5つの伝染病を指していましたが、現在はポリオ研究によって得た多くの研究結果を示すようになっていきます。1985年頃、ポリオ撲滅は夢物語で、「撲滅



ではなく「抑制」とされていました。RIがポリオ撲滅に最初に関与したのは1979年、フィリピンの600万人の子供達の為にポリオワクチンを購入、輸送、予防接種を行いました。1985年、RI創立80周年の記念の年、「ポリオワクチンプログラム」を立ち上げ、1億2000万ドルの募金目標を設定。1988年、「ポリオワクチンプログラム」目標額の倍以上、2億4700万ドルの募金が寄せられます。これに対してWHOからRIが使用している「抑制を撲滅という言葉に変えられるか」との要請を受け、討議の結果、世界保健総会にて採択、WHO・ユニセフ(UNICEF)・米国疾病対策センター(CDC)・RIが中心となるGPEI(世界ポリオ撲滅推進活動)が発足しました。目的は世界中の子供にポリオの予防接種を提供し、世界からポリオを撲滅する事。組織の中心はWHO、実働部隊はUNICEF、CDCは調査や研究、RIは資金援助等。この活動の結果1994年南北アメリカ大陸でポリオ撲滅宣言、1995年ポリオのない国のロータリアンが世界のポリオ撲滅を支援する事が出来る様に「ポリオプラス・パートナープログラム」を立ち上げました。2000年、オーストラリアから中国まで広がる西太平洋地域でポリオ撲滅宣言。2002年、大西洋から中央アジアに及ぶ広大な欧州地域でポリオ撲滅宣言。2006年ポリオ常在国はアフガニスタン・インド・ナイジェリア・パキスタンの4カ国となりました。2007年、規定審議会において「ポリオ撲滅」を全てのプログラムの最優先事項に決定。2009年ビル&メリнда・ゲイツ財団が「2億ドルのチャレンジ」として3億5500万ドルの資金提供を約束。2011年新しい啓発キャンペーン「あと少し」を立ち上げ、ビルゲイツやジャッキーチェン等各界の

著名人が参加。2012年2億ドルチャレンジの募金に成功。2014年インドを含む東南アジア地域（世界人口の1/4）でポリオ撲滅宣言。常在国は3カ国となりました。インドは衛生状態、カースト制度などの問題から、一番最後までポリオが残る国だといわれていたので、この地域のポリオ撲滅は、奇跡と呼ばれ、これで世界はポリオを撲滅できるという認識に。ビル&メリンダ・ゲイツ財団は今後3年間、RCがポリオ撲滅のために集める募金に対し年間5000万ドルを上限に2倍の上乗せを行うとの事。1988年には流行国125カ国35万人感染者が、2017年12月には流行国3カ国16人。ポリオ絶滅宣言というのは、3年間の野生株でのポリオ発症ゼロが証明され、WHOが根絶宣言をして世界中のポリオワクチン接種が終了します。根絶活動、最後に難航しているのが、アフガニスタン・パキスタン地域。タリバンやイスラム国の影響もあり治安が悪く、部族制度の伝統や強い自治権があり、ワクチンへの間違った理解（奇形児の出産、不妊等）があり、難航しています。ヴィンラディンのおじとで、ポリオ視察団に扮したCIAが潜入した事もあり、疑心が強い。



【ワクチン】ポリオのワクチンは2種類。①「経口生ワクチン」ポリオウイルスの病原性を弱めて作ったもの。ポリオに感染した時とほぼ同様の仕組みで強い免疫ができます。免疫を付ける力が優れている一方でまれにポリオを発症する事があります。経口投与なので訓練を受ければ資格のない人でも投与出来、安価です。1回133円程度（3回接種）②「不活化ワクチン」ポリオウイルスを不活化、病原性をなくし免疫を作るのに必要な成分を取り出したワクチン。ウイルスとしての働きはないので、ポリオを発症する事はありません。注射による投与なので、医師等資格のある人でないと投与出来ない。高価です。1回5450円程度（4回接種）経口ワクチンから不活化ワクチンへの移行はポリオ撲滅最終戦略計画の重要な項目。毎年世界で1億5000万人の赤ちゃんが生まれている中で、全員に不活化ワクチンを投与する場合、どの程度必要かをご理解頂きたい。現在、活動費が15億ドル。RIは民間団体としてはビルゲイツ財団に次いで2位。RCが資金面で大きな役割を担っていることが分かります。RCの国別では、日本は2位ですが、一人当たりの寄付単価は低くなっています。まだまだ改善の余地があると思われます。2750地区内、今年度のベストテンでは東京多摩グリーンRCは上位になると思います。ご協力ありがとうございます。皆さんが行事にご出席される際に、募金箱を持参頂き活用頂ければと思います。またイベントなどに冠として「ポリオ撲滅」と付けて頂き、参加費に少し上乗せ頂けるとけるとありがたいです。世界ポリオデーは10月24日です。これは、不活化ワ

クチン開発者のジョナス・ソークの誕生日です。支援企業のお願ひもしています。この発案者が遠藤さんでした。皆さんのご協力をお願い致します。

最後にポリオを撲滅する5つの理由です。

- ①人びとの生活を改善
- ②未来への投資
- ③子供の健康を改善
- ④資金の節約
- ⑤歴史をつくる

ポリオの撲滅は天然痘に続いて世界から撲滅された2番目の疾患となります。人類にとって偉大な功績であり、ロータリアンの功績でもあります。ここまで来たのでいいんじゃないかと感じるかもしれませんが、今が人類にとって初めてポリオ撲滅のチャンスです。このチャンスを逃すとまた増えていくかもしれない。しっかりと最後まで撲滅する事が私達に課せられた課題です。何より世界からポリオを撲滅する事が子供たちと交わした約束だからです。約束を果たすためにも、撲滅活動に励まなければならないと思います。皆様には一層のご理解と撲滅活動へのご協力をお願いして終わります。ありがとうございました。



（今週の担当 田村 豊）

◎お礼と閉会点鐘

会長 田崎 博実

田中様、本日はとても面白いお話をありがとうございました。ポリオ撲滅まであと少しという所まで来て、アフガニスタンなどの政治情勢等で活動が制限される事は、とても残念なことですね。ロータリアンとしてそうした地域でも、なんとか支援できるよう頑張っていく事が必要だと感じています。

（今週の担当 田村 豊）

【 お知らせ 】

多摩グリーンロタキッドクラブ

「心の詩・少年少女合唱団」第12回定期コンサート

- 開催日 : 12月15日(金)
- 会場 : 関戸公民館ヴィータホール
- 時間 : 18:00開場 18:30開演